

**特定化学物質等
障害予防規則
(特化則)**

労働安全衛生法の関連規則で労働者の有害化学物質による健康障害を予防するための規則です。平成13年にEOGが第2類物質(ガン等の慢性障害を引き起こす物質)に改正され、今回(20.3.1施行)ホルムアルデヒドも第2類物質に改正されました。平成20年3月26日厚生労働省は都道府県労働局労働基準部労働衛生主務課長宛で密閉方式のホルムアルデヒドガス消毒器等に関する特定化学物質等障害予防規則の適用について事務連絡を通知され、一部の医療機器において適応除外とされました。

EOG 機器	物質名	ホルステリ20RM
<p>【第2類物質】ガン等の慢性障害を引き起こす物質</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業主任者の選任(技能研修) 局所排気装置の設置等設備の整備 漏洩の防止 作業環境の測定(年2回) 作業場所6箇所の濃度測定 環境測定士の(国家資格士)民間委託 費用1回各50,000円 30年間の記録保持 健康診断を年2回、その記録を30年間保存補助規定あり 	特化則	<p>【第2類物質】ガン等の慢性障害を引き起こす物質</p> <p>(事務連絡) 医療、歯科医療の現場において密閉式のホルムアルデヒドガス消毒器でかつ装置内での自動中和処理により消毒対象器具を取り出す際にホルムアルデヒドが別の化学物質に変化していることから残存しない状態になっている装置がある。このような消毒器を稼働させ医療器具、歯科医療器具等消毒作業を行った場合において特化則の主な措置の適用について下記のとおりである。</p> <p>【作業環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発散抑制措置について ガスが発散しないため不要 作業主任者について ホルステリ20RMの運用に対しては不要(※参照) 作業環境測定について 常時作業に該当しないため不要 健康診断 ホルステリ20RMの運用に対しては不要(※参照) 作業記録 常時作業に従事する労働者に該当しないため不要 <p>※ホルマリン等の化学物質の保管を行う以上、作業主任者は必ず必要です。また、年1回の通常健康診断は必要です。</p>

アンモニア液



●入数/300cc×2本

専用中和液・消臭液



●中和液(赤)入数/500cc×5本
●消臭液(緑)入数/500cc×5本

チェックカード



●入数/1ケース100枚
●カードサイズ/20mm×50mm

バクテリアフィルター



●入数/5個

導入事例



ホルステリ20RM仕様

一般名称	ホルムアルデヒドガス消毒器
クラス分類	管理医療機器(クラスII)
本体寸法	465W×480D×590H mm
消毒庫寸法	角型 390W×285D×180H mm
消毒庫容量	20L
消毒庫材質	ステンレス SUS304
運転制御	自動専用型 マイクロコンピューター
定格電源	AC100V 15A 50/60Hz
消費電力	650W
本体重量	46kg
電磁両立性	EMC適合(JIS C 1806-1)
認証番号	220AIBZX00062000

※カタログ仕様は予告なく変更することがあります。

デリケートな器具 増えていませんか?



繊細な器具を熱にかけるのは不安だな…。



やっぱり低温処理だと安心ですね。



ホルムアルデヒドガス消毒器 ホルステリ20RM

高水準消毒器

ASUKAMEDICAL CO.,LTD.



マスクキャラクター
「アスカちゃん」

「直接質問したい!」という方はこちらから

アスカメディカル お問い合わせ

検索

担当者から直接お返事させていただきます!

製造元

株式会社 アスカメディカル

医療機器製造許可証 27B2200023
第2種医療機器製造販売業許可証 27B2X00210

本社・工場 / 〒536-0008 大阪府城東区関目2丁目12番10号 TEL (06) 6939-3011 FAX (06) 6939-3225

東京支店 / 〒111-0055 東京都台東区三筋1-12-2 金子ビル1階 TEL (03) 5820-5662 FAX (03) 5820-5663

askhm@asukamedical.co.jp http://www.asukamedical.co.jp

2017.11.H1000

お問い合わせ先

工程終了後、すぐ取り出せます!

特長 1 短時間処理

[フローチャート]



特長 2 経済的なランニングコスト

ホルステリ 20RMの消毒1回のコスト...約360円
(ホルマリン液・アンモニア液・中和消毒液・フィルター・ホルマリンチェックカード・電気代)
 ※滅菌バック除く

ホルステリはランニングコストが安い!

参考 従来のEOG滅菌器 1回のコスト...約1,000円
 委託滅菌にすると 1回のコスト...約10,000円

特長 3 安全性

- 局方ホルマリンボトルを専用格納ボックスに設置。ばく露防止の為、自動注入装置を採用しました。
- 使用したホルムアルデヒドガスを独自の中和システムにて処理し、クリーンに排気します。



特長 4 消毒効果

エビデンス

	二重バックでの器具消毒 試験	チューブモード
1) 供試菌	米国 MesaLabs Bozeman Manufacturing Facility 社製「EZ Test」バイオロジカル・インジケータ (BI) Bacillus atrophaeus (ATCC#9372)	
2) 試験材料	「EZ Test」をホギ社製滅菌バックに入れて、それをさらに滅菌バックに入れ、庫内5箇所に配置し、試料とした。	内径0.5mm 長さ3.0m シリコンチューブの中間に両端にノズルの付いたテスト管に「EZ Test」を入れ、ホギ社製滅菌バックに入れて、それをさらに滅菌バックに入れ、庫内5箇所に配置し、試料とした。
3) 測定方法	「器具モード」機器作動。供試菌の発育を観察測定。全工程時間:2時間30分 設定温度:50℃	「チューブモード」機器作動。供試菌の発育を観察測定。全工程時間:8時間10分 設定温度:50℃
4) 試験結果	供試菌 枯草菌 試料箇所 ①②③④⑤ 発育の有無 全て(-)	

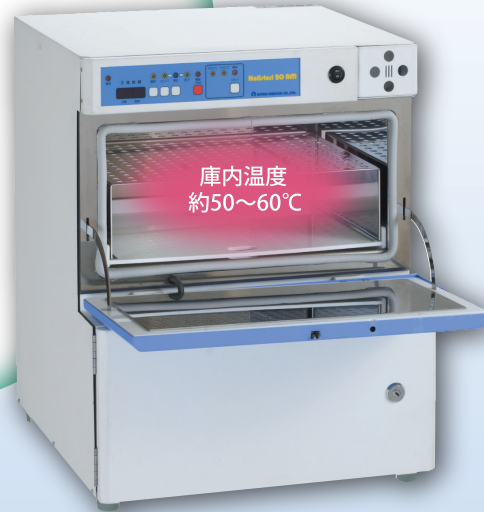
(-) 菌の発育を認めない
 (+) 菌の発育を認めた

(試験) 厚生労働大臣指定検査機関 社団法人 大阪食品衛生協会 食品検査センター



こういったものが心配だと思います。

低温でやりたいもの



20 L 容量の角型消毒庫

390W×285D×180Hmmの角型チャンパーは、丸型チャンパーに比べて、デッドスペースを作らず消毒できます。



※写真はイメージです。



消毒できたかどうか一目で分かる専用インジケータ
 ※薄茶色に変色します。

